

専攻の区分「放射線技術科学」の修得単位の審査の基準の改正について

平成 30 年度より専攻の区分「放射線技術科学」の修得単位の審査の基準を改正します。
改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、平成 30 年度 4 月期からとなります。

専攻の区分	専攻分野の名称
34 放射線技術科学	保健衛生学

放射線技術科学は、放射線に関する医療技術を扱う学問分野であり、理工学及び基礎・臨床医学を基盤としている。放射線、磁気、超音波などは人体内部を画像化する手段として診断に役立っている。また、放射線はがんの治療にも利用されている。放射線技術科学は医用放射線の分野において確立された医療技術を理解し、それを安全かつ正確に遂行する能力を身に付けるのに必要である。また、今日の医療においては、医用画像から疾病の早期発見や診断・治療に必要な情報を引き出すための画像医工学に関する知識・技術が必要とされている。これらに対応するため、A群に示した放射線に関する医療技術を体系的に履修することに加えて、B群に示した放射線技術科学の基礎となる理工学、基礎・臨床医学、社会医学に関する科目を履修することが求められる。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位（62 単位以上）

専攻に係る授業科目の区分	専門科目（40 単位以上）	
	【A群】（36 単位以上） ○放射線理工学に関する科目 ○放射線医科学に関する科目 ○画像医工学に関する科目 ○放射線・画像技術学に関する科目 ○放射線管理学に関する科目 ○放射線技術科学に関する実習科目 【B群】 ○理工学に関する科目(放射線技術科学分野の基礎となる理工学) ○基礎・臨床医学に関する科目 ○社会医学に関する科目	左のA群の区分のうちから「放射線理工学に関する科目」及び「放射線技術科学に関する実習科目」の区分を含み4区分以上にわたること
	関連科目（4 単位以上）	
	◇専攻分野「保健衛生学」の他の専攻の区分の専門科目A群に区分される科目 ◇健康科学に関する科目 ◇人間発達・心理学に関する科目 ◇統計学・情報科学に関する科目 ◇社会福祉・リハビリテーション論に関する科目	

■ 専門科目の例 ■

【A群】

○放射線理工学に関する科目

放射線物理学、原子物理学、放射化学、放射線機器工学、放射線感光工学、放射線発生工学、放射線機器管理学など

○放射線医科学に関する科目

放射線医学、画像医学、画像解剖学、核医学、放射性薬品学、放射線治療学、放射線生物学、放射線遺伝学など

○画像医工学に関する科目

画像工学、画像解析学、画像処理論、放射線写真学、画像情報学、画像機器工学、画像センサー学、写真化学など

○放射線・画像技術学に関する科目

放射線計測学、放射線画像技術学、医用画像技術学、核医学技術学、放射線治療技術学、温熱治療技術学など

○放射線管理学に関する科目

放射線管理学、放射線衛生学、放射線関係法規、放射線施設設計学、放射線廃棄物処理学、放射線量評価学など

○放射線技術科学に関する実習科目

放射化学実習、放射線機器工学実習、放射線写真学実習、放射線画像技術学実習、放射線計測学実習、核医学技術学実習、放射線治療技術学実習、放射線管理学実習、画像機器工学実習、画像工学実習、画像センサー学実習、医用画像技術学実習、病院見学など

【B群】

○理工学に関する科目（放射線技術科学分野の基礎となる理工学）

応用数学，電気工学，電子工学，電磁気学，音響学，自動制御工学，システム制御工学，医療情報工学，医用物理学，量子力学，医用分析機器学，医用材料学など

○基礎・臨床医学に関する科目

医学概論，臨床医学概論，解剖学，生理学，生化学，病理学，薬理学，臨床化学，臨床検査学，看護学，臨床免疫学，救急医学など

○社会医学に関する科目

衛生学，公衆衛生学，医療システム学，環境科学，国際医療協力学など